

ユーモア

2022. 9. 1

日本の宇宙飛行士に野口聡一さんがいる。今までに3度も宇宙に行っている方である。その野口さんがJAXAをやめた。ということは、宇宙飛行士ではなくなったということである。肩書は、元JAXA宇宙飛行士となった。

野口さんがテレビに出ていた。いわゆるバラエティー番組である。難しそうな宇宙の話でも野口さんが話すとわかりやすい。そして、おもしろい。お堅いまじめな番組には当然専門家として対応できるだろう。加えてバラエティー番組にも対応できるのである。コミュニケーション能力が高い。ユーモアがある。だからこそ、他国の宇宙飛行士と一緒に何日間も活動することができるのだろう。

ユーモアとは、人の心を和ませる可笑しみ。上品で笑いのセンスが溢れる言葉や話し方など。人を傷つけない上品な可笑しみで、ゆとりや寛大さを伴っている。まとめると、万人受けの相手を傷つけない上品な笑いとなろうか。機知に富んだ会話で人に笑いを引き起こす能力やセンスがあることである。

ユーモアがある人の特徴はというと、頭の回転が速くて語彙が多い。言語能力に優れている。人を楽しい気分させようとするサービス精神が旺盛である。人の気持ちや考え方に対する想像力が優れている。

野口さんは、いつもニコニコとして笑顔である。こういう方でないと、海外ではうまくやっていけないのだろう。特に、宇宙飛行士ともなれば、いつも死と背中合わせである。もちろん、まじめな専門的な会話ができなければやっていけないだろう。だが、それだけでは不十分なように思う。人を和ませる、場を和ませるユーモアがほしい。

たぶん、日本人にはユーモアが足りない。自分にも足りないことを自覚している。ユーモアの意味に、ゆとりや寛大さを伴っているとあった。ここがポイントのように思う。日々忙しいからといってゆとりがないのでは当たり前すぎる。忙しいと、寛大さの逆に行きがちである。忙しいはずなのに、常にゆとりを感じさせる人がいる。人を許せる寛大さをもっている人は、人間としてのスケールが違う。

テレビに出ている野口聡一さんを見ながら、ユーモアのことなどを考えた。野口さんのライフワークは「宇宙は人間をどう変えるのか」といった哲学的問題である。自らのYou Tubeチャンネルなど、積極的な情報発信も行っている。

これからは、今まで以上にユーモアについて考えていきたい。なぜなら、人の気持ちや考え方に対する想像力がポイントだからである。